

2014年度第3回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2014年8月22日（金） 午後6時30分から
- 2 場所：国分寺労政会館3階第2和室（国分寺市南町3-22-10）
- 3 出席者：座間直壯、平山恵三、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡
欠席者：清田義昭、矢崎省三

（事務局：蓑田明子）

4 報告及び協議事項

（1）第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2014年7月31日現在
正会員100名3団体 賛助会員43名1団体 計147名・団体（前回から変化なし）

（2）第2号議案 都立多摩図書館の移転について【報告】

- ・2014年6月20日に行なわれた東京都議会文教委員会で、都立多摩図書館建設工事契約締結に関連して、議員質疑が行なわれた。（この議事録は、インターネットで公開されている。）
- ・工事契約を経て、2014年8月21日夜に建設地に隣接する国分寺市立第四小学校2階会議室で、着工説明会が行なわれた。

※この二つの会での説明と配布資料から、移転改築される都立多摩図書館について、現在わかる情報を報告した。

- ・地上3階、塔屋1階、延べ床面積8,972㎡。（1階は開架閲覧室、展示イベントスペース、飲食スペース、準閉架書庫、管理部門。2階は200人収容のセミナールーム、それ以外は閉架書庫。3階は閉架書庫）書庫収容能力は、都立中央208万冊、現都立多摩103万冊、新都立多摩285万冊。
- ・契約工期 平成26年6月25日～28年8月31日（説明会終了後、着工する予定）
- ・場所は、西国分寺駅南側5分、東側に広大な都立武蔵国分寺公園がある南北に長い都有地のうち、一番北側（駅に近い部分）。土地の北側（駅側）をエントランス側として広く開けている。
- ・この南側に都有地はまだ広く空いており、都有地と道を挟んで国分寺市立第四小学校がある。（都有地南端で間もなく都立小金井特別支援学校仮設校舎の建設工事が始まるが、仮設運営で本来の小金井に戻る。）南側都有地の一部に、東京都公文書館が平成31年、敷地6000㎡で移転予定。
- ・現在の都立多摩図書館のマガジンバンク、児童青少年サービスは引き継ぐ、地元の小学校や（希望としては）中央線沿線に多くある大学と連携したい、と工事説明会で都立多摩図書館長は説明していた。面積の大半を占める閉架書庫についての説明はなかった。

→ 地元説明会で配布された資料によれば、書庫中心の建物のようなものである。この書庫をどう活用するのか、どういう機能を考えているのか等、提出するタイミングは考慮しなければならないが、要望書をまとめる必要がある。

（3）第3号議案 除籍予定蔵書の検索作業について【報告】

- ・5月に町田市から依頼された横断検索は1,705件（ISBNあり1553件、ISBNなし152件）。
検索調査の結果は、町田市のみ所蔵64件、他1自治体所蔵70件であった。7/17に町田市にデータを返送した。
- ・会員メーリングリスト等で募集し、この作業に関わった人員は10名。うちボランティア6名、事務局員4名。ボランティアへの礼状・結果報告もお出しした。
- ・調査の結果で多摩地域に2冊以上あり、残さなくなるはずの資料の一部を厳選して里親事業を行う予定。「残すことにならない資料は里親探しをさせていただきたい」と町田市に申し入れた。

町田市からは見直して残したいものがある、9月をめどに館内調整予定とのこと。除籍リストが確定したら、里親事業に取りかかる。

→ この里親探しについては、図書館大会の分科会でも報告できるとよい。

(4) 第4号議案 第20回多摩デポ講座について【報告】

- ・「多摩地域の図書館行政を支える図書館員に聞く」第1回「坪井さん、松島さん、大いに語る」
講師：坪井茂美氏（府中市立図書館館長）・松島満氏（あきる野市図書館館長）
- ・日時：2014年8月4日（月）午後6時30分～9時
- ・場所：国分寺労政会館 第一会議室（地下）
- ・参加 14人

※多摩地域では間遠になった中で、どちらも2007年に新設された中央図書館で、共通に自動出納書庫を設置している。

- ・新館が建設されたり、自動出納書庫が導入されたり、PFI事業が行なわれたりすると、当初こそ多くの論評がされ見学会が盛んだったりするが、しばらくしてその後どうなった、という検証は大変少ない。
- ・また、自治体合併の中での図書館統合という課題も（どっちがどうリードしたとの）個別問題もあり、貴重な経験が踏み込んで語られにくい。率直な報告や意見交換ができるには、信頼できる基盤がなくてはならない。
- ・両館で具体的には異なるところもあるが自動出納書庫の運用実態の一面、PFI事業で図書館を運営している経験、合併の中で時間をかけ図書館事業を統合していく過程、五日市憲法草案という貴重な文化財を抱えた図書館の一面などを、大変率直に語っていただいた。
- ・講師二人という企画のメリットは大いにある。やってみると、率直に語っていただけただけ、もっと聞きたい時間が不足との印象も残った。個別テーマで別に企画する必要もあるだろう。
- ・現役の図書館長たちとのつながりができたことがよかった。
- ・講師でなく参加者側に、図書館長や現役図書館員にもっと来てもらえる工夫をしたい。

(5) 第5号議案 全国図書館大会公募型分科会の取り組みについて【報告・協議】

- ・第100回全国図書館大会で、応募した企画が通り、11/1（土）に公募型分科会「図書館再生——県立図書館を中心とした共同保存の可能性」を実現出来ることになった。
- ・三多摩図書館研究所と共催で、一日の分科会が実現。
- ・基調講演…山口源治郎氏、梅澤幸平氏。主催側報告、戸室幸治、堀渡。
- ・事例発表に埼玉県、富山県、岡山県、愛知県の4つの県立図書館から来ていただける。
- ・事例発表の要綱原稿、基調講演の要綱原稿、図書館雑誌9月号掲載の分科会案内記事。つまったスケジュールだが、協力を得て、こなしつつある。
- ・企画は実現できるので、PRし、参加者を集め、よい議論が行えるよう詰めていく必要がある。
- ・具体的には、多摩デポで独自の分科会チラシを作り、多摩地域の図書館、東京都、関東近県、全国の都道府県立図書館等に送付し、参加を呼び掛けたらどうか。準備の取り組みが必要。
- ・8/9に行なわれた会場下見会に参加。会場は明治大学リビティタワーの1166号室（定員140人）、部屋は16階、食堂が17階。会場内で展示が可能、それ用のパネル貸出あり。書籍販売は可。室内の椅子と机はすべて固定。他に机・椅子が必要なら、申込んで指定のゼミ室から搬入とのこと。（パネル、追加のマイク等必要な物品も事前申込が必要）
- ・当日の運営委員として8人まで参加無料、弁当支給。運営委員の打ち合わせも必要。前日は午後4時から午後8時まで準備に入れる。当日は午前8時から入れる。

- ・9/9 三多摩図書館研究所との打ち合わせ会を予定。(場所:立川南口、CIVIL 午後7時)

→ 都道府県立図書館を中心に必要なPRを行う。参加よびかけのチラシ案を9月中旬までに作成、9月下旬～10月初めには届くように送る。
→ 分科会の運営委員8名を確認。事務局長からの連絡を待ってそれぞれ個人参加申し込みをする。

(6) 第6号議案 (株)カーリルとの共同研究について【協議】

- ・今年度総会で事業計画として決定した、共同保存図書館の準備作業「バーチャル共同保存図書館構想の調査・研究を一步進め、多摩地域で最後の2冊に該当する情報を抽出し、データベース化のテスト事業に着手する。」を進めるために、事務局より提案があった。趣旨、協定書案について説明を受け、協議した結果、事務局提案通り
 - ① 多摩デポと(株)カーリルが共同研究に関する協定書を交わす。
 - ② 多摩デポ事務局と(株)カーリルとの運用会議を定期的に行う。
 - ③ 今年度中にバーチャルデポのモデル案を作成する。の3点を了承した。
- ・協定書案については、提案された案文の検討を行ない、文言の再点検を指摘し、事務局に戻した。

(7) 情報交換

- ・松岡氏の講演のブックレット化について
8月末原稿締め切りの予定。10月の全国図書館大会で販売できるよう、鋭意作業を進める。
- ・ホームページのアクセス解析の無料期間終了に伴い、有料でのサービスを継続する。

- ★ 次回の理事会 10月14日(火) 午後6時半 八王子市クリエイトホール9階和室
やまゆり
- ☆ 次回の事務局会議 9月13日(土) 午後6時半 国分寺労政会館第二和室(3階)

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と田中ヒロ理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2014年8月22日

議長

議事録署名人

議事録署名人